

平成 28 年度提出修士論文

大都市における児童の居場所の変遷と実態  
—大阪市の放課後事業を事例として—

M15LB501 梅田堅司

【目次】

- I. はじめに
  - 1) 問題の背景と研究目的
  - 2) 対象地域と方法
- II. 居場所概念の整理と分類
  - 1) 居場所の定義に関する先行研究
  - 2) 居場所の分類
  - 3) 居場所に関する先行研究
  - 4) 居場所としての放課後事業
- III. 大阪市の放課後事業の変遷と政令指定都市における放課後事業の比較
  - 1) 大阪市の放課後事業の変遷
    - (a) 民設民営の学童保育
    - (b) 子どもの家事業の開始から廃止まで
    - (c) 全児童対策としての児童いきいき放課後事業
    - (d) その他の放課後の児童の居場所
  - 2) 児童の放課後事業 3 事業の比較
    - (a) 留守家庭児童対策事業
    - (b) 子どもの家事業
    - (c) 児童いきいき放課後事業
  - 3) 放課後子ども総合プランと政令指定都市における放課後事業
    - (a) 放課後子ども総合プラン施行まで
    - (b) 政令指定都市における放課後事業の規模
  - 4) 大阪市の放課後事業の特徴
- IV. 大阪市における放課後事業の供給体制の地理的変容
  - 1) 放課後事業の立地の変遷
  - 2) 学童保育所の立地と児童数およびいきいき事業との関係
    - (a) 学童保育所の立地と小学校の児童数
    - (b) 学童保育所の有無といきいきの利用率
  - 3) 学童保育所の偏在と多様な居場所の喪失
- V. 放課後事業の実態と地域との関わり
  - 1) 留守家庭児童対策事業の実態
    - (a) 聞き取り先の選定

- ( b ) 移転の原因と物件の概要
  - ( c ) 利用者の属性・いきいきとの関係
  - ( d ) 地域との関係
  - ( e ) 大阪市の学童保育の独自性と課題
  - ( f ) 運営を継続できる要因
- 2) 児童いきいき放課後事業の実態
- ( a ) 聞き取り先の概要
  - ( b ) 事業受託の経緯と条件
  - ( c ) 受託後の変化
  - ( d ) 利用者の属性
  - ( e ) 運営に関する課題
  - ( f ) 持続的な運営に向けて
- 3) 現行の放課後事業の課題
- VI. 都市における多様な居場所の構築を目指して
- 1) 居場所の多様性
  - 2) ミニマムとしての居場所づくり

おわりに

注

参考文献

キーワード：

居場所・学童保育・大阪市・児童いきいき放課後事業・放課後子ども総合プラン